



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所

平成28年 4月13日

お知らせ

資料提供先

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町記者クラブ
防府記者クラブ
防府市政クラブ

水辺の河川構造物を安全に利用できるよう点検します

▶▶ ゴールデンウィークを前にして ◀◀

【実施目的】 水辺利用が本格化するゴールデンウィークを前にして、水辺の河川構造物が安全に利用出来る事を点検します。

【対象区間】 一級河川佐波川(国の管理区間内)

【実施日時】 平成28年 4月19日(火) 9時30分から2時間程度
(雨天時予備日) 平成28年4月21日(木) 9時30分から2時間程度

【実施者】 国土交通省職員、防災エキスパート、「佐波川に学ぶ会」、「小野水辺の楽校 空間利用を考える会」、山口市・防府市職員 (20名程度)

【点検のポイント】 水辺への通路や堤防・水際の階段などにおいて、転落や落下、損傷部へのはまり込み等

【取材について】 * 報道関係者の方につきましては、以下のとおりお集まりいただければ、対応させていただきます。

4月19日(火)9:30 国土交通省佐波川出張所※3

■問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副 所 長 (河川担当) ともざわ しんいち 友沢 晋一

電話番号 (0835) 22-1785 (内線204)

【担 当】河川管理課長 やまさき たかひろ 山崎 隆洋

電話番号 (0835) 22-1890 (内線331)

【広報担当】計画課長 よしだ まさと 吉田 真人

山口河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

★河川は、水辺空間としての親水・レクリエーション機能を持ち、誰もが自由に利用できる場となっています。このため、河川の利用者が多くなると予想されるゴールデンウィークを前に、安心して利用していただくという観点から、佐波川の水辺にある河川構造物について「安全利用点検※1」を実施します。

★この「安全利用点検」は、国土交通省職員、防災エキスパート※2、佐波川で活動している河川愛護団体（「佐波川に学ぶ会」、「小野水辺の楽校 空間利用を考える会」）及び親水施設を占有・管理されている山口市・防府市職員の計20名程度で実施します。

※1安全利用点検とは

河川に整備した水辺の楽校等の通路、階段、高水敷や低水護岸等の陸上部（水際を含む）を対象として転落や落下、陥没や損傷部等へのはまり込み等の利用者に危険を生じさせる箇所がないかを重点的に点検するものです。

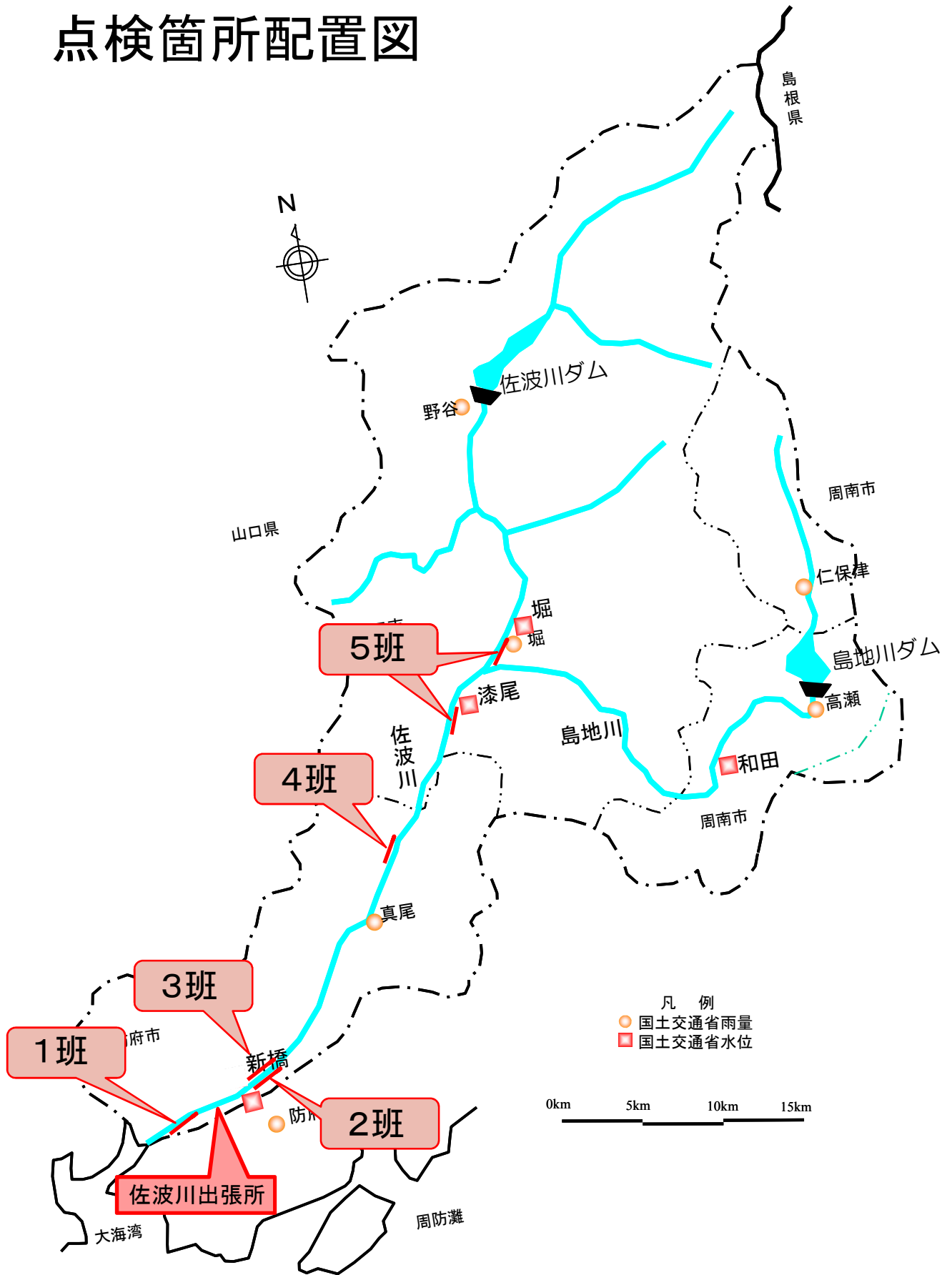
※2防災エキスパートとは

阪神・淡路大震災を契機に、災害時におけるボランティアの果たす役割の重要性が認識され、平成8年1月に公共土木施設等の被害情報の迅速な収集等をボランティアとして行う「防災エキスパート制度」が発足されました。これまでに地方整備局・北海道開発局、沖縄総合事務局において約5,500名が登録されており、地方公共団体においても制度が発足しています。

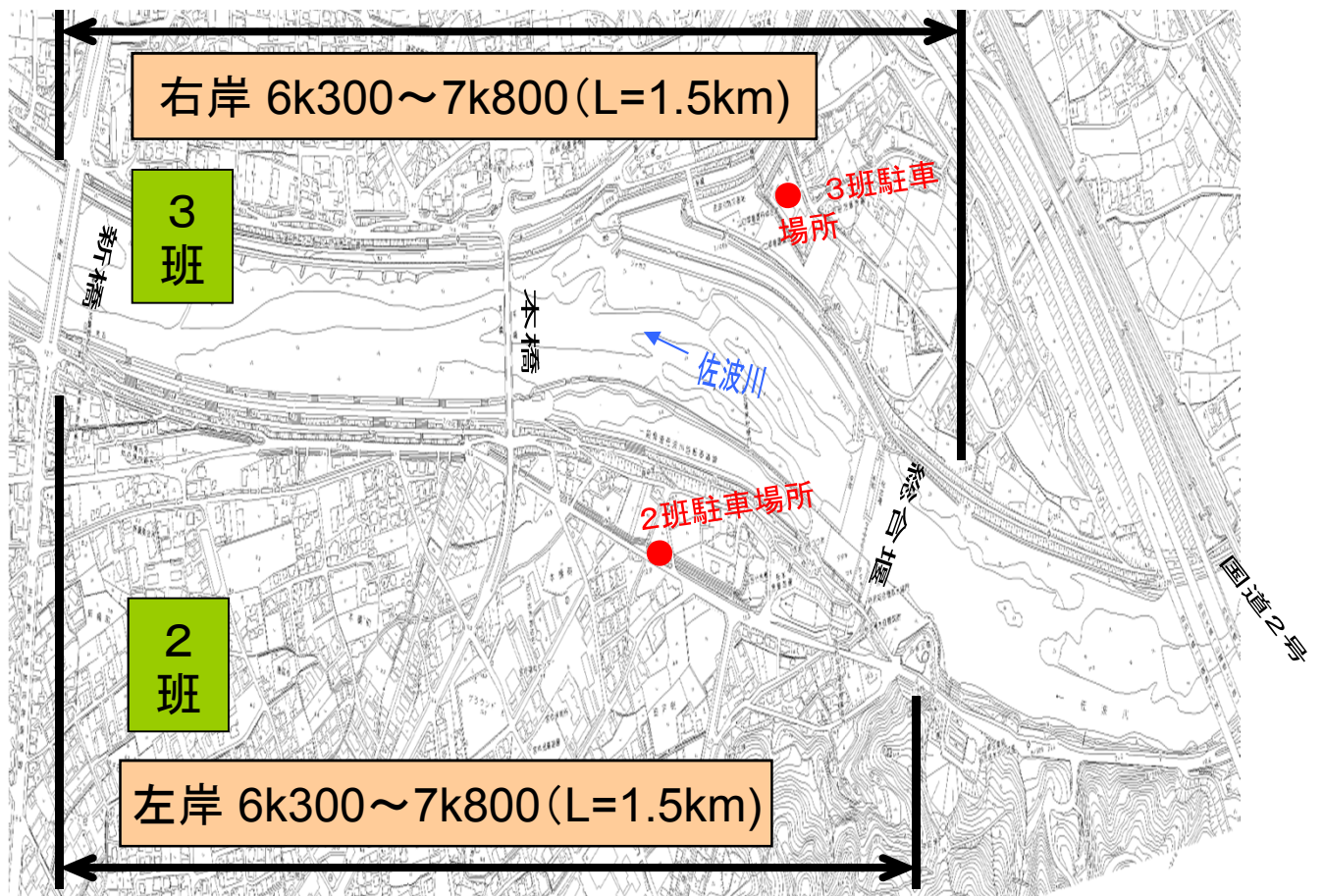
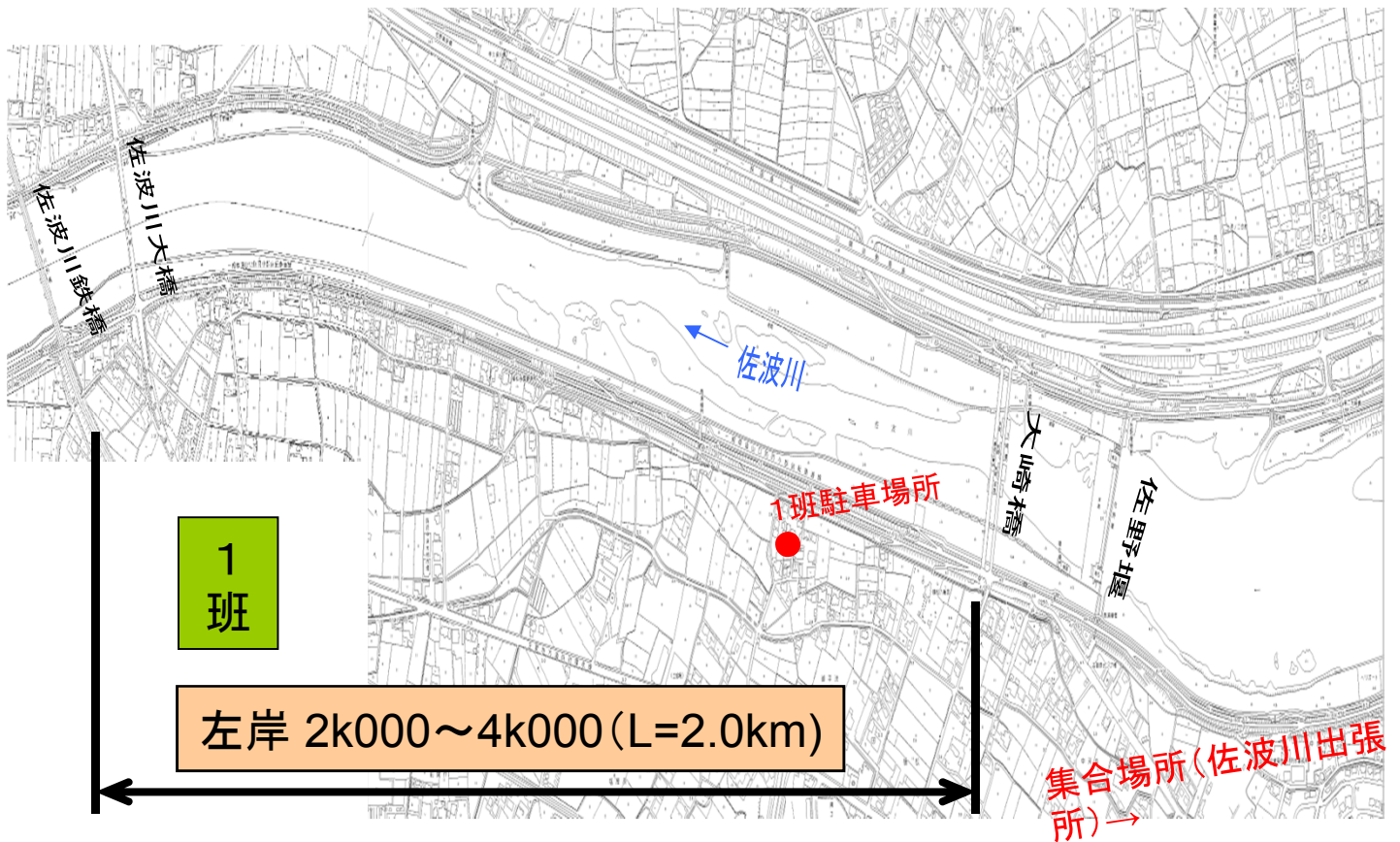
※3住所：防府市古祖原18-43（佐波川出張所）



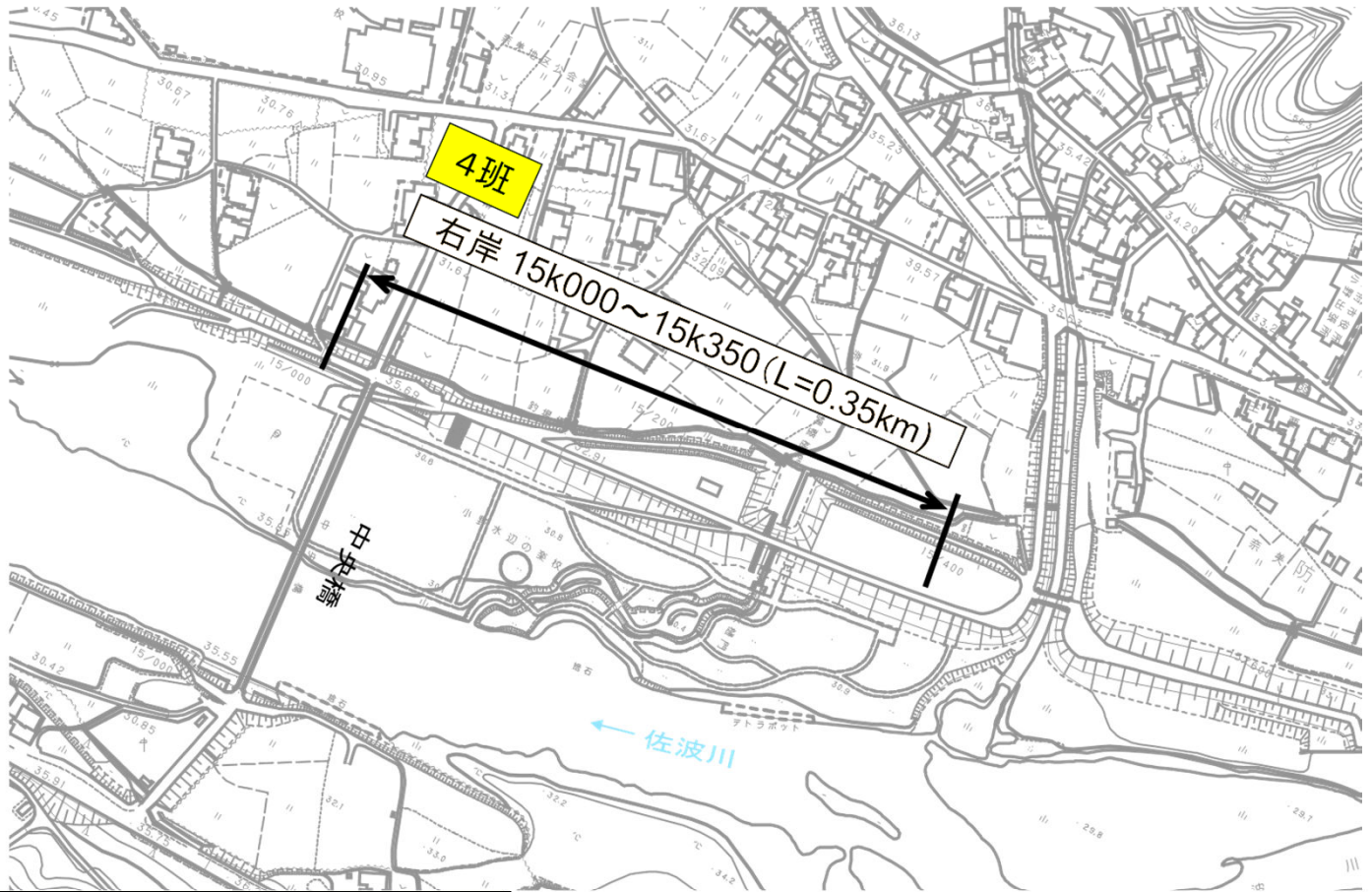
点検箇所配置図



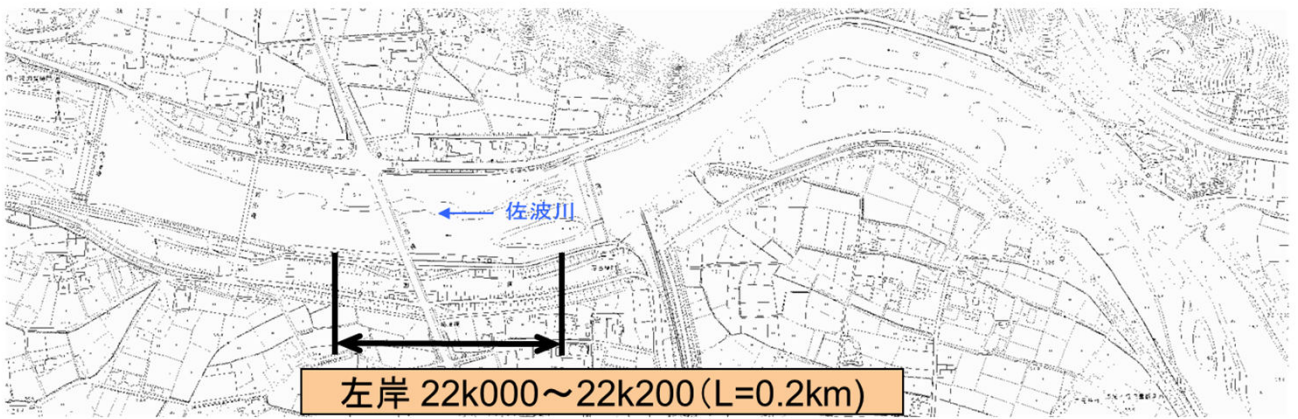
安全利用点検箇所(1~3班)



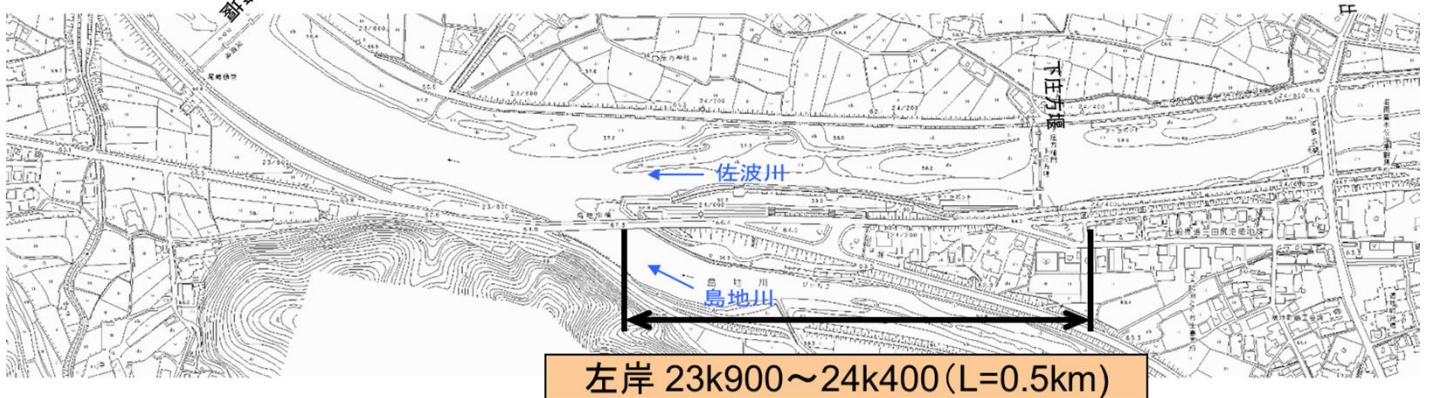
安全利用点検箇所(4班)



安全利用点検箇所(5班)



5班



5班

平成27年度の実施例

点検時の状況



玉石護岸の詰め石が抜けていたため。隙間に足を取られるとねんご等のケガをする恐れがありました。

緊急対策



隙間に詰め石を充填し、整地しました。

点検時の状況



階段に雑草が繁茂して、段差が分からず、つまづく恐れがありました。

緊急対策



雑草を取り除き、段差が分かるようにシマした。